

## 2026年 わくわく科学ラボ 科学もの作りと科学実験体験型教室（高槻）

### 第1回 科学もの作り

開催日時 5月9日

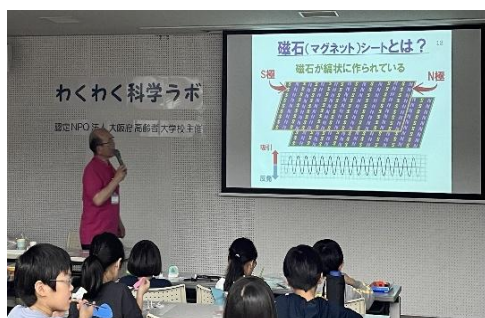
開催場所 クロスパル高槻 視聴覚室

受講人数 39名（3年生3名、4年生18名、5年生13名、6年生5名）

### 1時限目 「とことこマグネット」



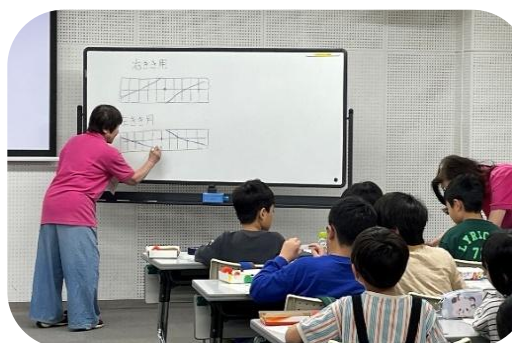
講師 大谷



- 「とことこマグネット」は、最初に、トコトコ動く様子の映像を見せる事から始まりました。マグネットシートは自分で規定の長さにかットするようにしました。マグネットシートを貼った細長いボール紙に、動かすための画用紙を巻くのですが、丁寧にきっちり巻きすぎて、スムーズに動かしにくいという子どもが何人かいました。巻いた画用紙を接着する前の動きの確認が、とても大事と思いました。
- 子ども達は動かして遊びながら、上下に「とことこ」動く様子を確認し、なぜ上下に動くのか、磁石シートはどうなっているのか、等、いろいろ考えていました。最後に、マグネットシートの磁極S、Nが、どうなっているのかの説明を受け、納得していたようです。3年生で磁石を習うので、理解しやすかったように思います。
- 材料のイラストは2個分あり、1個は色無しも入っていましたので、色を塗ったり、2個作ったり、それぞれ楽しんでいました。レシピを配布しているので、家に帰ってから好きなイラスト等で作り、楽しむことと思います。

次ページに子ども達の「とことこマグネット」感想文(抜粋)があります

## 2時限目 「紙とんぼを飛ばそう！」



講師 岡部



- 「紙とんぼを飛ばそう」の材料は、方眼紙とストローです。  
方眼紙を2cm×10cmにカットし、中心にストロー1本を挿して上部に切り込みを入れ、セロテープで方眼紙に貼り付けて作りました。  
右利き、左利き用の基本の傾きの線を引き、線に沿って軽く折り目を付け、飛ばします。
- さあ、次は、いろいろな工夫をしてみます。たくさんある方眼紙、ストローを使い、羽をたくさん付けたり、ストローを長くしたり短くしたり、いろいろな形を作り飛ばしていました。飛ばし方も、上に向けて飛ばしたり、下に向けて飛ばしてみたり、反対に回してみたり。
- ああすればどうなるか、こうすればどうなるか等、自分で工夫して試すことが出来、子ども達は思う存分楽しんでいました。

次ページに子ども達の「紙とんぼを飛ばそう！」感想文(抜粋)があります

**認定NPO法人 大阪府高齢者大学校 子ども事業推進グループ**

次回開催 2026年6月13日(土)

科学もの作り (1時限目:コマを楽しむ;2時限目:空気砲で遊ぼう!)